



幼稚園、小、中、高等学校に於ける COVID-19 予防 学生、親、保護者向けの情報

ロサンゼルス郡の幼稚園、小、中、高等学校は幼稚園、小、中、高等学校の再開手順に従うことで再開できます。COVID-19 の拡散を予防するための何層もの保護策を実行し、完全に対面式の授業を安全に再開できるよう、学校が従う事の出来る規則と推奨事項のリストを記載しています。学校はロサンゼルス郡公衆衛生局と共に安全を確保するための環境を作り上げてきました。さらに、2021年8月11日にカリフォルニア州から発行された衛生担当官命令は、全ての学校のスタッフがワクチン接種完了の証明を示すか、少なくとも週に一回検査を行うことを必須としています。

親や保護者は子供に COVID-19 の安全規則と推奨事項を理解させて、学校に戻る準備をしましょう。学校に戻る際にどんな心構えをしておくべきかを子供に説明してください。そうすることで安全で成功する新学期を迎えることができます。

全ての人の安全を確保するため、学校は以下の必須条件を持っています：

ワクチン接種の有無に関わらず、屋内で全ての人がマスクを着用する。

- 学校の建物、公共交通機関と学校の交通機関（例：スクールバスやバン）、屋内での体育の授業を含みます。
- 以下の場合、学生がマスクを取り外すことが許可されています：
 - 飲食中、シャワー中、水泳中、昼寝中
- マスクを着用すべきではない人：2歳（24か月）以下の子供はマスクを着用すべきではありません。特定の医療状態や精神衛生状態や障害を持つ人で、医師から指示されている際はマスクを着用しないようにしましょう。学校での医療状態や精神衛生状態、障害、又は聴覚障害によるマスク着用の免除は、免許を持つ医師やその他の医師免許の元で働く医療従事者によって認定される必要があります。自己申告や保護者による申告は受け入れられません。医療上の理由でマスク着用を免除される人は、医療状態が許す限り、首元までカバーするドレープの付いたフェイスシールドを着用する必要があります。
- マスク着用の詳細はph.lacounty.gov/masksをご覧ください。

病気の場合や、隔離・検疫命令下にある学生は登校しない。

- 熱がある、又は他の病状を持っている子供は、学校に登校させないでください。COVID-19の症状についてはph.lacounty.gov/covidcareをご覧ください。
- 登校時に学生たちは症状のスクリーニングや熱を測られることがあります。病状のある学生は学校施設内に入ることを許可されません。在学中にCOVID-19の症状を現し始めた生徒は、他者から隔離され、帰宅指示が出る場合があります。
- 子供が病気になった場合に登校せずに自宅で安全に過ごせるよう、緊急ケア計画をしっかりと立てておきましょう。

学校は追加の安全策を取り組むことができます。



幼稚園、小、中、高等学校での COVID-19 予防策

以下の安全策は、物理的距離を確保する事、混雑を避けること、換気を良くすることなどにより、COVID-19 の拡散リスクをさらに減少するためのものです。全ての人がある学校の規則に従う必要があります。子供の学校に連絡して、どんな安全策があるかを知りましょう。

学校は以下の追加策を持つ場合があります：

- スケジュールを変更したり時間をずらして、廊下での混雑を避ける。
- 生徒と教師のグループを指定して、一日のほとんどのアクティビティをその特定のグループで行えるようにしましょう。
- 教室の窓やドアを開け、空気の流れや換気を良くする。
- 無症状の学生に対して定期的に COVID-19 検査を行う（「スクリーニング」）。又は、学校は COVID-19 の症状を持つ学生や、COVID-19 感染者と濃厚接触した学生に対してのみ検査を行う。
- 特に体育、音楽、演劇、ダンス、歌の授業を含む COVID-19 を拡散する高リスクのアクティビティの授業や食事は屋外で行う。フェイスマスクを取り外す必要がある音楽のアクティビティ（管楽器の演奏など）は、グループアクティビティとして屋外でのみ行われる必要があります。
- パフォーマンス、スポーツ競技や試合は屋外で行う。学校は[大規模なイベント向けの最善方法](#)に従いましょう。

子供は学校でのリスクを減少するためにさらなる安全策を行うことができます。

学校の安全策に従うのに加え、リスクを減少するために子供が行える予防策があります。

- 12歳以上の場合、ワクチン接種を受ける。
 - ワクチン接種を受けることは子供をCOVID-19から守る最善方法です。COVID-19のワクチンは安全かつ効果的で、全ての人に無料で提供されています。懸念がある場合は小児科医に相談してください。
- 混雑した屋外の場所でマスクを着用する。
 - これは、登下校中に列に並んで待つ場合、休み時間、食事の時間に飲食していない時を含みます。
- マスクの最大効果を得る。
 - 最も効果的なマスクは、子供が屋内で常に快適に鼻と口を覆う形で着用できるものです。マスクは鼻と顎にフィットし、顔周りに大きなギャップがない形で着用できるものであるべきです。マスクは少なくとも2層で出来た、目の細かい通気性のある素材で作られている必要があります。
 - より高レベルの保護を提供するマスクの種類があります。詳細はph.lacounty.gov/masksをご覧ください。マスクの保護レベルが高くなるにつれて、子供が1日中快適にマスクを着用することが難しくなります。
 - 快適に呼吸ができ、学校で常に着用できるように、自宅で子供がマスクを試着することをお勧めします。自宅（屋内）で少なくとも数時間マスクを着用する練習をしましょう。
 - マスクが汚れたり濡れた場合に備えて、子供に替えマスクを余分に持たせましょう。
- 他者から距離を置く。
 - 子供に他の学生の集団を避けるよう伝えましょう。可能な限り、教室の外で他者から少なくとも腕2本分（約6フィート）の距離を置くようにしましょう。

幼稚園、小、中、高等学校での COVID-19 予防策

- 他者とマスクを着用せずに接する場合（飲食中など）は常に距離を置くようにしましょう。
- **手指衛生を心掛ける。**
 - 頻繁に水と石鹸で手を洗うか、少なくともアルコール分60%の手指消毒剤を使うようにしましょう。小さな子供のアルコール入りの手指消毒剤の使用は大人の監視下で行ってください。こうして手指消毒剤が乾く前に物を食べたり、口に手を入れたりすることを避けます。
 - 洗っていない手で食事したり、顔を触らないようにと注意しましょう。

その他のヒントは [12歳以下の子供がいる親向けの安全策と拡散予防](#) をご覧ください。

親と保護者向けの、どの状況が高リスクかなどを含むリスクを減少し COVID-19 の拡散を遅める方法の詳細は <http://ph.lacounty.gov/reducerisk> をご覧ください。

COVID-19 から身を守る最善方法はワクチン接種を受けることです。

ワクチンは、滞在資格に関わらず 12 歳以上の全ての人に無料で提供されています。ロサンゼルス郡の様々な場所で予約なしで受けることができます。家から出られない人向けに、自宅でのワクチン接種も利用可能です。

VaccinateLACounty.com の「[ワクチン接種の受け方](#)」をクリックしてお近くのワクチン接種場を見つけるか、**公衆衛生局ワクチンコールセンター 833-540-0473** までお電話を。
年中無休、営業時間は午前 8 時から午後 8 時まで。